

令和7年度
事業報告並びに決算報告書

社会福祉法人
横浜市港北区社会福祉協議会

令和7年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業報告

令和7年度は、担い手不足が課題となっている中、多くの子ども食堂が新たに立ち上がるなど地域での福祉活動は活発に展開されました。また、障害児・者を対象とした移動支援の相談も増え、多くのボランティアが支援活動を行っています。活動内容が明確なものには担い手が集まることが分かりました。

第5期地域福祉保健計画については「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるまち港北」という基本理念のもと区計画を策定し地区別計画の策定を支援しました。

また、本会の組織運営や活動に信頼を寄せ、協力いただいている地域や関係機関からの期待に応えられるよう、コンプライアンスの意識を高め、事務・事業の適正化や事件・事故の防止に努めるとともに、ワークライフバランスの推進や職場環境の改善に取り組みました。

【重点取組】

1 心配ごと・困りごとへの対応

ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター、生活福祉資金貸付事業、食支援の取組など個別の支援から生活課題などを把握し関係機関と協力のもと解決を図るとともに地域で支えあう体制づくりを進めました。

- ・ボランティアセンターでは、LINEによる情報提供の体制を整えボランティアの発掘や活動の推進を図りました。
- ・移動情報センター事業では、各地区社協との懇談会において事業説明を行い地域で困りごとを抱えながら生活されている方の課題の一端を共有しました。
- ・寄付品やフードドライブでの食料品を活用し、区役所や地区社協、民生委員・児童委員と連携し困りごとを抱える方の食支援や地域食堂などの支援を行いました。

2 身近な地域における支えあいの推進

身近な地域の困りごとを受けとめ、支えていく視点で地域支援を推進しました。

- ・地域食堂の立上げ支援を行い、課題を持った子どもの支援や高齢者の支援など行いたいという地域の方の思いを形にしました。
- ・地域における情報を住民と支援機関（本会、地域ケアプラザ、区役所など）が共有し、必要な支援や取組につなげる体制づくりを進めました。

3 地区社協活動・小地域活動の支援

「一人ひとりの困りごとに寄り添える地域づくり」へ向けて、住民とともに身近な地域での「つながり・支えあい」を進める本会の強みを活かす支援に取り組みました。

- ・地区社協の広報を考えていくために地区社協セミナー「SNS活用による地区社協の広報強化」を開催しました。
- ・各地区社協と地域活動財源の確保について意見交換を行いました。

4 港北区地域福祉保健計画の推進

第5期地域福祉保健計画 区計画を区民の皆様をはじめ、地域ケアプラザや区役所、関係機関と共に策定し、地区別計画に関しては、ひっとプランサポートスタッフが策定支援を行いました。

5 災害対策の充実

災害に備え特に重要な役割となる災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向けて関係機関・団体と連携して体制整備を進めました。

- ・市民局、区役所、市社協、区社協で発災から区災害ボランティアセンターの立ち上げまでの流れをロールプレイ形式で確認したのち、災害ボランティア連絡会会員との合同訓練を実施しました。

6 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化

協議体として会員組織の充実を図るとともに、事業の推進に向けその基盤となる組織の充実・強化に取り組みました。

- ・正会員を対象にウィリング横浜と共催で認知症理解に関する講座を開催しました。
- ・ヒヤリハットの共有など職員が責任を認識し誠実に業務を進めるようコンプライアンスの徹底に取り組みました。
- ・業務を通じ職員を育成し能力の底上げを図るとともに、外部研修などへ派遣し職員の専門性の向上に努めました。
- ・ワークライフバランス実現のため事務・事業効率化などの改善に取り組むとともに、風通しの良い職場づくりや事務機器の更新など職場環境の整備を進めました。

I 福祉啓発

1 「港北ほくほくフェスタ」の開催

＜ひっと つながる－1、2 とどく－1＞

区内における地域福祉の発展に寄与することを目的として、福祉活動功労者の表彰式典を各種福祉保健活動団体の協力を得て開催しました。

(1)開催日・場所

令和7年 10 月 30 日 (木) 港北公会堂および区役所中庭

(2)内容

- ①第 43 回港北区社会福祉大会 (社会福祉功労者表彰状並びに感謝状贈呈)
- ②本会分科会活動パネル展示
- ③ボランティアの広場 (作業所製品の販売、バザー)
- ④「社会を明るくする運動」標語コンクール優秀作品の掲示 など

(3)参加者 約 200 名



社会福祉大会



社会福祉大会 (ヴォーカル・アンサンブル・フルールによる祝賀演奏)



ボランティアの広場



社会を明るくする運動

2 IT を活用した情報の発信

<ひっと とどくー1>

本会の事業や役割、地域や本会会員団体の活動について広く周知を図るとともに、必要な情報が必要な人へ届くよう、ホームページの充実に加え、動画配信や SNS を活用し情報を発信しました。

(1) ホームページ

- ①地区社協活動やボランティア募集、福祉保健活動拠点の予約状況、各種講座の情報を掲載
- ②地域福祉保健活動の情報(地区社協・地域ニュース)の発信
- ③問合せフォームや電子メールを使用した各種受付
- ④地区社協ページの充実



本会ホームページ

本会ホームページ閲覧件数

<https://www.kouhoku-shakyo.jp>

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
閲覧件数	39,588	39,868	36,890	42,358	46,759

(2) インターネットの更なる活用

X(エックス)を活用し、ホームページ更新情報や講座・地域情報を発信しました。また、LINE公式アカウントを取得し、ボランティア情報を中心に登録者へ情報発信を行いました。



港北区社協キャラクター
ほっぴー

(3) 港北区社協キャラクター「ほっぴー」の作成

本会の認知度向上、「区社協＝身近な存在」というイメージ構築を目的にキャラクターを作成しました。拠点利用者や LINE 登録者の投票の結果、「ほっぴー」と命名されました。

3 広報紙「ふくしのまど」の発行

<ひっと とどくー1>

地域の福祉活動・本会事業・地区社協の取組・ボランティアセンター情報などを定期的に発信していくため、地域新聞を活用し、広報紙「ふくしのまど」を発行しました。

(1) 「ふくしのまど」の発行

- ①6月 115 号:福祉体験特集号
 - ②11 月 116 号:社会福祉功労者の表彰特集、公式 LINE のお知らせ(市域新聞の活用)
 - ③3月 117 号:ボランティアセンター案内・ボランティア活動の紹介、他
- 発行部数:①25,000 部(区内小中学校を中心に配付)
- ②56,200 部(新聞折込) 施設などへの配架 500 部
 - ③800 部(施設などへの配架及び関係会議等での配布)

配布先:新聞折込・福祉保健活動拠点・地域ケアプラザ・地区センター・区民活動支援センター、ホームページ掲載など

Ⅱ 個人の自立支援

1 困りごとのある人への支援

本会は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という理念のもと、一人ひとりが抱える生きづらさや社会生活を営む上での困りごとに対して、相談を受けとめ、必要な支援を行える体制づくりを進めます。地域共生社会の実現に向けて、本会事業における新しい仕組みの検討や地域づくりのための活動支援を行いました。

(1) 総合相談

「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」をコンセプトに相談対応を行いました。

(2) 各事業との連携

- ①事業における職員の気づきを話し合える場の確保
- ②専門職としての力量を高めるための研修、学習の場の確保(外部・内部研修の活用)

(3) 新しい仕組みの検討

- ①地域活動の創出支援
- ②生活圏での活動支援

2 港北区社協あんしんセンター事業の実施

<ひっと とどくー1>

高齢者や障害者の自立生活を支援するため、日常生活自立支援事業の普及・啓発を行い、利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行いました。また、よこはま成年後見推進センターや港北区成年後見サポートネットとの連携を強化し、市民後見人の支援や成年後見制度の周知を行うとともに権利擁護を推進しました。また、横浜市「ヨコハマあんしん登録」事業の登録支援を開始しました。

(1) 利用対象

- ①概ね 65 歳以上の高齢者
- ②成年で障害のある方(身体・知的・精神)

(2) サービス内容

- ①総合相談
- ②金銭管理・定期訪問
- ③預金通帳など財産関係書類の預かり
- ④ヨコハマあんしん登録 登録支援(令和8年1月事業開始)

(3) 関係機関との連携

① 港北区成年後見サポートネット

専門職会議(年4回)、全体会(年3回)、市民後見サポートネット(年1回)

② 港北区地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会への参画

③ 港北事業者連絡会「ガンバ港北」の役員

(4) 普及・啓発

① 区役所・地域ケアプラザ・関係機関とともに巡回無料相談会の開催(12月13日)

② 民生委員・児童委員への制度周知(新任民生委員研修、地域ケア会議等)

③ パンフレットや事例集を使用した関係機関へ制度の周知・広報

契約・相談件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
契約件数	93	86	72	58	54
うち新規	22	34	20	11	12

年度		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
延活動数	初回相談	102	83	61	57	47
	継続相談・活動	5,354	5,231	4,191	4,134	4,411
	成年後見移行	2	1	4	2	0

3 障害児・者のための外出相談室

港北区移動情報センター「おでかけGO! 港北」の実施

<ひっと ひろがるー1、つながるー2、とどくー1>

障害児・者の移動を支援する窓口として、移動手段の相談・情報提供や地域への啓発、移動支援に関するボランティア人材の発掘・育成などを行いました。また、新入学の準備、学校生活、卒業後の備え、社会生活などのライフステージごとのニーズ把握と具体的な対応について必要な支援に取組みました。

(1) 利用対象

障害児・者およびその家族、支援機関

(2) 移動に関する相談や情報提供(制度説明・福祉サービス事業所などの紹介)

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	504	533	402	305	210

(3) 保護者、関係機関との連携

- ① 保護者座談会の開催(7 回、参加者 計 39 名)
- ② UD(ユニバーサルデザイン)車両試乗会へ見学(11 月 25 日 12 月 20 日)

(4) 支援者の発掘とフォローアップ

活動前の事前調査、初回同行

(5) 横浜市ガイドボランティア事業(※)の実施

- ① ガイドボランティア活動のコーディネート
- ② 奨励金の支払いなどの事業実施

ガイドボランティア登録者数・派遣件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
登録者数	87	73	58	51	44
派遣件数	2,898	1,812	1,551	2,116	576

※横浜市ガイドボランティア事業

障害のある方の外出付添いボランティアに対し、奨励金が支払われる横浜市の事業

(6) 事業の周知・広報

- ① 地域交流コーディネーター連絡会における移動情報センターの事業説明
- ② 地区社協懇談会における移動情報センターの事業説明

(7) 推進会議の開催

回	開催日	内容
1	9月 24 日 11 名	令和 6 年度 事業報告 令和 7 年度 4 - 8 月事業報告 令和 7 年度の実施状況について 情報交換
2	2月 24 日 10 名	令和 7 年度 第 2 四半期～第 3 四半期の相談傾向について 令和 7 年度 第 2 四半期～第 3 四半期にみられたトピック 令和 8 年度 事業計画 情報交換

4 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供

<ひっと とどく-1>

区内の子育て世代支援を目的とし、認定 NPO 法人びーのびーのと協働してホームページや子育て応援マップ(紙版)を通じて子育て情報を発信しました。

ホームページについては、子育てに関する必要な情報が簡単に入手できるよう更新していくとともに、編集メンバーによる特集やブログ形式などで役に立つ情報を発信していきました。

需要の多い子育て応援マップ(紙版)については、区役所などの関係機関と連携し周知及び配布を行い、子育てに役立つ情報を住民に届けました。

- (1) スマートフォンやタブレットにも最適化したホームページ「Web 版ココマップ」による、タイムリーな情報提供



Web 版ココマップ

ホームページ閲覧件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
閲覧件数	201,904	204,042	160,872	135,284	153,479

- (2) 子育て応援マップ(紙版)の周知

- (3) 編集会議の開催(年 11 回)

5 生活福祉資金貸付事業の実施

<ひっと とどく-1>

生活福祉資金の貸付と貸付世帯への継続的な相談支援を行うことによって、その世帯の生活の安定と経済的自立に向けたサポートを行いました。

- (1) 通常の貸付・相談状況

相談・問合せ件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	1,745	2,008	1,521	1,177	565

新規貸付件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
福祉資金	1	2	6	2	3
教育支援資金	16	23	12	12	30
総合支援資金	0	0	1	0	0
つなぎ資金	0	0	0	0	0
不動産担保型 生活資金	1	0	0	0	0
緊急小口資金	4	2	6	1	0
合計	22	27	25	15	33

(2) 特例貸付

相談・問合せ件数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	747	609	363	1,796	9,484

※特例貸付の申請受付は令和2年3月 25 日から始まり、令和3年 12 月 31 日をもって終了しました。以降は、償還についての相談や問い合わせの対応を行いました。

(3) 関係機関との連携

区役所生活支援課とのミーティングを3回開催(6月2日、9月 26 日、12 月8日)

随時連絡・調整を行いました。

(4) 担当職員の資質向上

①県社協の実施する研修に出席(4回)

②内部ミーティングを実施(月1回)

(5) 特例貸付のフォローアップ支援

貸付猶予・免除の申請対応や、他支援へつなぐなど、貸付世帯への継続的な支援

6 各種ネットワークへ参画

地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画し、協働しながら専門機関としての支援体制を構築しました。本会の視点を活かし、個別の支援課題から地域の支援課題の抽出へつなげました。

(1) 各種連絡会、ネットワーク会議

- ① 港北区地域作業所連絡会
- ② 港北事業者連絡会「ガンバ港北」
- ③ 港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会
- ④ 港北区高齢者虐待防止連絡会
- ⑤ 港北区キャラバンメイトのつどい
- ⑥ 幼保小連携会議
- ⑦ 地域ケア会議(区レベル)
- ⑧ 港北区子ども若者支援団体交流会

(2) 港北区地域自立支援協議会

事務局として自立支援協議会に参画し、区内の障害者支援施設との連携を図るとともに、地域における障害者等への支援体制に関する課題について把握しました。

Ⅲ 地域の福祉力の向上

1 地区社会福祉協議会への支援【重点】

＜ひっと つながる－１＞

住民に一番身近な社協である地区社協の活性化と住民への理解促進、住民に信頼される地区社協運営の支援を行いました。また、地域活動を支援するための食品寄付の仕組みの運用や、SNSを活用した地区社協の広報強化等をテーマとしたセミナーを開催しました。

(1) 区域での検討・共有の場・機会の設定

①会長・事務局長合同会議(地区社会福祉協議会分科会)(年4回)

②事務局長会議(年3回)

取組等の情報交換や地区社協研修動画のDVDを視聴し意見交換等を行いました。

③情報交換会(会長・事務局長合同開催 年1回)

地区社協の広報をテーマに、現状や課題、今後の取組みなどについて意見交換を行いました。

④会長・事務局長あて定期通信(本会の取組や地域情報など)の発行(年12回)【再掲】

(2) 各地区の取組状況の確認や課題共有・検討

①随時 各地区の会議・事業などへの参画

②地区社協役員と本会事務局との懇談会(13地区にて実施／1月16日～2月4日)

③地区社協状況書の作成と活用

④情報共有のための地区社協専用ページの運用

⑤SNSを活用した食品配分の仕組み「こうほく たべまる」運用

(3) 地区社協活動に関する広報・啓発

①地区社協ホームページの作成及び運用支援(希望地区のみ)

(4) 市域での検討・情報共有

①地区社協状況書の作成【再掲】

②市内地区社協の取組事例の共有

■地区社協会長・事務局長合同会議 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	4月17日 ①合同会議 会長9名 事務局長12名	1 任期満了に伴う、地区社協正副分科会長の選出について 2 港北区社会福祉協議会 理事および評議員候補者の選出について 3 地区社協活動費(市社協補助金)について 4 ひっとプラン港北地区別計画推進にかかる事務費の助成について 5 地区社協状況書について 6 賛助会員 会員募集にかかる運動について

	②事務局長会議 12名	7 令和7年度 地区社協事業助成金について 8 令和7年度 区社協における地区社協支援の取組について 9 その他 ・令和7年度 地区社会福祉協議会 総会開催状況について ・地区社協新任研修について ・令和7年度 区社協事業計画について ・港北区社会福祉協議会 事務分掌 ・港北区社協令和7年4月のお知らせ ②事務局長会議では事務局長の業務について情報交換
2	6月19日 ①合同会議 会長10名 事務局長10名 ②事務局長会議 10名	1 港北区社会福祉協議会 評議員候補者の選出について 2 港北区社会福祉大会顕彰候補者の推薦について 3 令和7年度 港北区社会福祉協議会 正会費の納入について 4 令和7年度 地区社協事業助成金(賛助会費)の交付について 5 【報告】令和7年度 地区社協新任研修について 6 令和7年度 総会開催状況について 7 各地区の取組方針について 8 港北区社会福祉協議会 令和6年度事業報告・決算概要 9 その他 ②事務局長会議では、各地区の取組について情報交換
3	11月13日 合同会議 会長10名 事務局長12名	1 地区社協事業助成金(第2期)交付について 2 地区社協役員と区社協事務局との懇談会について 3 来年度の区社協における地区社協活動支援について 4 令和7年度地区社協セミナーについて 5 その他 ・横浜市社協長期ビジョン2040について ・「担い手確保に向けた検討プロジェクト」中間報告 ・地区社協活動費について ・「ふくしのまど」秋号について ・港北区社協令和7年11月のお知らせ
4	2月12日 事務局長会議 事務局長9名	1 令和8年度 港北区社協賛助会員運動について 2 「地区社協研修動画」視聴および意見交換 3 【報告】令和7年度 年末たすけあい募金実績額・配分額一覧
5	3月13日 合同会議 会長12名 事務局長9名	1 地区社協役員と区社協事務局との懇談会結果について 2 【報告】地区社協セミナーについて 3 令和7年度 地区社協事業助成金の交付について 4 年末たすけあい配分並びに募金結果について 5 令和8年度 地区社会福祉協議会総会日程について 6 顕彰審査会について 7 「よこはまの地区社協活動」について

		8 第5期港北区地域福祉保健計画について 9 その他 ・令和8年度 地区社協関係会議日程 ・港北区社会福祉協議会令和8年3月のお知らせ
--	--	--

■地区社協新任研修 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	6月12日 15名	1 社会福祉協議会(社協)とは 2 地区社協とは 3 港北区社協とは 4 港北区社協と各地区社協の協働 5 組織運営と予算管理

■地区社協情報交換会 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	9月18日 会長10名 事務局長12名	1 情報交換 ・地区社協の広報について ・意見交換 2 その他

■地区社協セミナー ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	12月9日 21名	「SNS活用による地区社協の広報強化」 講師:窄口 真吾 氏(株式会社エスフェクト 代表取締役社長) 講義 ① イラストについて ② 著作権について ③ SNSの活用 ④ 伝わることば選び

2 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の推進【重点】

＜ひっとプラン＞

令和7年度は4期計画の最終年度となりましたが、引き続き「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、住民と関係団体、行政などが連携して地域の福祉保健の課題解決に取り組み、助けあいや支えあいのある地域づくりを進めました。

第5期計画の策定に向けて令和6年度に実施したアンケートや検討部会の結果を踏まえて素案を作成し、意見募集を行いました。地区ごとに作成する地区別計画は、区役所・地域ケアプラザとともに、計画づくりを支援しました。

(1) 令和7年度の実施

①第4期区計画および地区別計画の推進

②人材の発掘・確保のための取組

③第5期計画素案の意見募集

実施期間:8月29日(金)～9月30日(火) 総計:49件

④第5期計画の策定および地区別計画の策定支援

(2) 推進体制

	推進体制	推進の取組
区計画	①「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催(7月16日、1月14日) ②「ひっとプラン港北」事務局会議の開催(月2回程度)	①区域の計画推進
地区別計画	①地区別計画サポートスタッフ会議への参画(随時) ②地区別推進会議への参加(随時)	①地区計画推進・策定費の助成 ②地区別計画各種事業、取組などへの参加協力

(3) 広報啓発活動

①区民フォーラムの開催

映画上映会「こんな夜更けにバナナかよ」を開催しました。

1月10日(土) 参加者368名 港北公会堂

②PRグッズの配布を通じた啓発活動

PRグッズとして風船とリフレクターを作成し、ふるさと港北ふれあい祭り等で配布しました。

③ホームページやSNSなどを活用した周知

3 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】

<ひっと つながる－１、とどく－１>

本会の目指す「身近な地域のつながり・支えあい」を推進するため、地域ケアプラザと連携した地域支援を行いました。本会の持つ区域のネットワークや強みを活かし、一人ひとりの生きづらさや困りごとに対して必要な支援を行うための方針の検討や地域アセスメントを共有することで、地域のニーズ把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

(1) 推進体制

- ①地域ケアプラザ定例会カンファレンスへの参加(100回)
- ②地域ケア会議や協議体などへの参加・協力(18回)

(2) 地域ケアプラザとの連携

- ①地域活動・交流コーディネーター連絡会の定例会開催(月1回)
- ②2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援
- ③日常的な活動支援および協力
- ④スキルアップのための研修会の共催実施

○地域活動・交流コーディネーター向け「お悩み相談会」

2月24日 講師:佐塚 玲子 氏(よこはま地域福祉研究センター)



4 生活支援体制整備事業の推進

<ひっと ひろがる－１、とどく－１>

高齢者がいつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるよう、生活上の困りごとやその解決に向けた方策について、住民や事業者など様々な方と検討しました。また、身近な地域での助けあいの仕組みづくりや支える人・団体の支援に努めました。

また令和6年度に改正された「地域支援事業実施要綱」をもとに、今後必要になる取組(要支援・フレイル・プレフレイル状態の方々のニーズ把握とニーズにあった活動等へのマッチング)について、

話し合いを重ねました。

(1) 区域の課題解決に向けた取組

- ①区域のアセスメントおよび区域課題の検討
- ②様々な主体との協議の場の設定と連携促進
- ③地域住民や多様な主体による生活支援・介護予防サービスの企画・立案、実施方法の検討に係る支援

(2) 2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援【再掲】

- ①港北区2層生活支援コーディネーター連絡会の開催
- ②連絡会を主体とした取組(事業)の支援
 - 4月25日「タクシー会社と生活支援コーディネーターとの情報交換会」
ゲスト:三和交通株式会社 / かながわ福祉移動サービスネットワーク
 - 1月23日「横浜市みんなのおでかけ交通事業(地域貢献バス)勉強会」
講師:都市整備局 / 区制推進課
 - 「おすすめ活動ガイド 第6版」作成
- ③各地域ケアプラザ圏域での取組支援・日常的な活動支援および協力
- ④Ayamu(地域活動・サービスデータベース)の Web 版および冊子「きょういく・きょうようガイド」による情報提供

(3) 新たな社会資源や人材発掘に関する取組・支援

- ①横浜市サービス・活動 B 等補助事業(サービスB)の活動支援・相談対応
 - ・継続活動団体への支援(8 団体 9 事業)
 - ・北部 4 区(港北・緑・青葉・都筑)サービス B 活動団体情報交換会に向けた打合せ
- ②地域活動などの担い手発掘のための取組、冊子「おすすめ活動ガイド」による情報提供
- ③様々な「通いの場」づくり・運営の支援

(4) 広報・啓発

ホームページや SNS を活用した地域活動などの周知

5 地域の中の居場所支援事業

＜ひっと ひろがる－1、つながる－1、2、3、とどく－1＞

世代を問わず誰もが参加できる交流の場・機会を増やすため、地域の実情にあわせた居場所の立上げや活動を継続するための支援を行いました。

(1) みんなの居場所支援事業

- ①運営・継続支援

(2) こどもの居場所支援事業

①「子ども若者支援団体交流会」への支援

②「子ども食堂・地域食堂連絡会」の開催

○7月31日 第1回連絡会

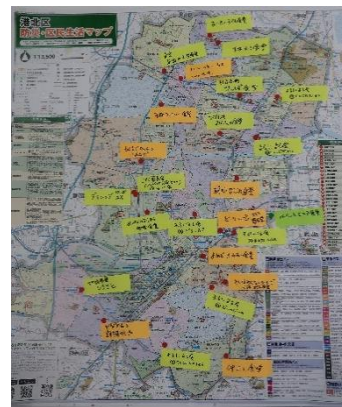
参加者:18団体 28名

○2月9日 第2回連絡会

参加者:13団体 21名

③こどもの居場所などの区内活動状況調査

④相談対応など



(3) その他、通いの場等への支援

①地域からの相談対応および立上げ支援

②小規模集いの場

③検討・協議の場への参画

④地域向け講座・研修などへの協力

⑤ホームページや SNS を活用した活動などの周知



6 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金による活動支援

＜ひっと ひろがる－2＞

「港北区ふれあい助成金」「港北区みんなの助成金」を通じ、区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動などへの支援を行いました。

助成規模 18,528,000 円

助成団体 188 団体 ※別紙「配分団体一覧表」(3月末時点)

港北区ふれあい助成金・みんなの助成金審査会

開催日	主な内容
6月17日 委員4名	1 委員長選任 2 令和6年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金報告 3 令和7年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金について 4 令和7年度 助成金の審査について 5 その他
3月2日 委員4名	1 令和7年度配分実績及び令和8年度配分予定(案)について 2 港北区みんなの助成金 区分新設について 2 令和8年度助成金実施要綱(案)について 3 令和8年度助成金実施要領(案)について 4 その他

7 福祉保健活動拠点の運営

＜ひっと ひろがる－１＞

福祉保健活動を行う団体等に会議や研修・事業実施の場の提供を通じて、地域活動の支援を行うとともに、地域ニーズの把握に努め、住民や関係機関とともに課題解決に向けて取り組みました。また、区民利用施設の指定管理者として、より公平・公正なサービスの提供と利用者ニーズに即した運営、施設間のネットワークづくりに努めました。

(1) 場の提供を通じた関係性の構築・活動支援

登録団体の活動紹介、各種イベントについて館内設置の配架用ラックを活用し周知を行いました。また、利用調整会議(年 2 回)を開催し、団体間の交流の場を提供、登録団体との情報交換、活動を続けていく上での課題の共有を行いました。

(2) ホームページや SNS などを活用した利用促進

毎月、拠点貸室の空き状況を本会 HP、X で公開し、貸館の利用促進に努めました。また、館内事務所、貸室内に空き状況を掲載しました。

(3) サービス向上の取組

窓口満足度調査を実施し、利用団体からのニーズの把握、サービス向上に努めました。
(回答:91 件)

(4) 利用調整会議の開催

年 2 回(11 月、2 月)開催。感染防止の観点から「感染症対策～冬本番に向けて今からできること～」の講座、防犯の観点から「詐欺は身近に迫ってる！？自分の財産を守るためにできること」講座を開催し、団体間の交流会を実施しました。

(5) ボランティア業務

ニーズに沿ったボランティアコーディネートを実施しました(52 件)

(6) 関係機関および地域との連携

施設間連携会議(12 月)へ参加し、区内関連施設や行政施設との連携、情報交換を行いました。

(7) 拠点登録団体・利用件数

登録団体:122 団体、稼働率:50.7%

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用件数	2,647	1,754	2,380	2,131	1,740

8 「食」を通じた地域活動および暮らしの支援

＜ひっと ひろがる－１、つながる－１、とどく－１＞

食品ロスの軽減や助けあいの気持ちで個人・団体・企業などから本会に寄せられた寄付品（食品）を有効に活用し、必要な取組・人に届けるための仕組みづくりを進めます。寄せられた寄付物品の他、善意銀行や年末たすけあい募金の財源を活用した取組も行います。

(1) 受入れた寄付品（食品）の適正な管理

(2) 地域活動の支援

「こうほく たべまる（SNS を利用した配分の仕組み）」継続による地区社協と地域活動、本会と連携（再掲）

(3) 個人の暮らしの支援

生活福祉資金貸付事業など本会相談者への貸付資金が交付されるまでのつなぎや、貸付事業で対応できない生活困窮者を関係機関と連携しながら相談対応していくための支援方法の一つとして食支援を実施しました。実施にあたり、区役所や地域ケアプラザなどの支援機関、民生委員児童委員や主任児童委員などの支援者、また本会会員との連携により相談者へお渡ししました。

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施件数	101	120	176	102	96

Ⅳ ボランティア活動の推進

1 港北区ボランティアセンターの運営

＜ひっと ひろがる－１＞

個人や団体を対象にボランティアに関する相談対応や情報提供、活動先の紹介などを行いました。また、ボランティアコーディネーション(※)の視点から、ボランティアをしたい個人・団体と、ボランティアを求めている個人・団体からの多様な相談を受け止め、活動などをコーディネートしました。また、福祉に対する意識啓発を行い、区域での福祉力向上に努めました。

「港北区ボランティアセンター」の西部方面ブランチとして運営している「やすらぎの家」との連携を図り、ボランティア活動の推進に取組みました。

※ボランティアコーディネーション

ボランティア活動の意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が相互に対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整し、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする働きかけ。

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催(3月 10 日)

令和7年度事業報告と令和8年度事業計画の説明、善意銀行の配分について審議しました。

	開催日	内容	結果
1	3月 10 日	1. 令和7年度 事業報告および令和8年度 事業計画 2. 善意銀行の配分について ・令和8年度善意銀行配分予算書(案)の検討 ・ボランティアセンター事業、みんなの助成金配分事業の予算(案)の検討 3. 意見交換 ・広報発信について	承認

(2) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

区ボランティアセンターのブランチとして、主に区西部方面を中心としたボランティアセンターの運営を行いました。

- ①主に西部方面を中心としたボランティアコーディネート(月・水・金)
- ②みんなの居場所としての開館(月・水・金)
- ③「やすらぎの家」運営会議の開催(年6回)
- ④小学生・中学生に向けた福祉講座・体験の実施(7月 23 日、24 日 参加者 27 名)
- ⑤コーディネーター勉強会の開催(2月 26 日)

(3) 各種ボランティア保険の取扱

ボランティア個人や団体が安心安全にボランティア活動を行えるように、ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険などの取扱いを行いました。

ボランティア活動保険:199 件 ボランティア行事用保険:416 件 福祉サービス総合補償:24 件

(4) ボランティア入門・育成講座の企画・実施

① 障害当事者のおはなし会

開催日: 11月21日(金) 参加者 36名

場所: 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容: 港北区ボランティア・市民活動分科会と在宅福祉分科会、港北区ボランティアセンター共催で「障害当事者のおはなし会」を開催しました。講師には中途障害当事者の方と発達障害当事者の方をお呼びし、障害当事者の方の困りごとやご自身で努力していること、障害についての考え方の変化、私たちにできるサポートなどお話をいただきました。



② ハンドマッサージ講座

開催日: 2月20日(金) 参加者 18名

場所: 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容: 港北区ボランティア・市民活動分科会と共催し、リラックスや身近な人のためのハンドマッサージを学ぶことと、講師からの日々の活動や障害児の子育てのお話を聞くことを目的にハンドマッサージ講座を開催しました。講座では、障害児の子育てのお話を聞き、リンパの流れを良くするハンドポンプや肘・指関節のマッサージ、手のツボ押しなどのハンドマッサージを学びました。



(5) ボランティア団体等との連携

① 港北区ボランティア連絡会定例会への参加(年11回)

定例会の参加および、ボランティアの広場、ボランティアの集いの開催に協力しました。

② 各地区ボランティア連絡会定例会への参加

(日吉地区ボランティア連絡会、城郷地区ボランティア連絡会)

③ 地域のボランティア団体との連携

(港北録音グループ、綱島東ボランティア、綱島西ボランティアグループ、神奈川傾聴塾)

④ 移動情報センターガイドボランティア事業と連携し、センターに寄せられる送迎に関する相談についてコーディネート共有を行い、ボランティアを調整しました。

(6) 広報・情報提供

① 「ふくしのまど」の発行【再掲】

ボランティア情報や地域福祉に関する情報、活動などについて発信

②ホームページや SNS を通じたボランティア情報の発信

本会ホームページや SNS を通じてボランティア情報を届けました。

③ボランティアニーズ情報紙の発行(年5回)

区社協ホームページでの発信、窓口での配架を行いました。

(7) ボランティアコーディネート力の向上

① ボランティアコーディネーター定例会(事例検討 月1回)

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
紹介件数	52	35	29	18	20
コーディネート率	73%	68%	57%	56%	62%
登録人数(個人)	259(47)	380(33)	347(34)	308(35)	273(39)
登録グループ数	71(2)	72(6)	68(7)	64(1)	63(2)

2 港北区災害ボランティア連絡会の運営

＜ひっと とどく－2＞

港北区災害ボランティア連絡会事務局として、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力しました。連絡会会員が地域防災拠点運営に携わる上での共通理解を深めました。

(1) 災害ボランティア連絡会定例会・役員会

総会 (5月21日)

役員会(年12回)

定例会(年11回)

(2) 災害ボランティアセンターシミュレーション訓練

1月31日(土) 参加者 35名

市民局、区役所、市社協、区社協で発災から区災害ボランティアセンターの立ち上げまでの流れをロールプレイ形式で確認。その後、災害ボランティア連絡会会員との合同訓練を実施。(災害情報システムを用いた当日受付・マッチング・送り出し・活動報告の訓練)

(3) 災害や防災に関するセミナーの開催

① 7月21日(参加者:会場24名、オンライン3団体)

「マンション防災を考える～認定NPO法人かながわ311に聴く～」

講師:伊藤 朋子 氏(認定NPO法人かながわ311ネットワーク代表理事)

② 10月5日(参加者:会場21名、オンライン8団体)

「災害時の水とトイレは命綱」【第一部】「水」について、【第二部】防災拠点トイレ問題

【第一部】講師:桐生 翔太 氏(横浜市水道局菊名水道事務所 事務係長)

【第二部】講師:渡部 駿 氏(港北区役所 総務部総務課)

③2月8日(参加者:会場 21 名、オンライン 12 団体)

「備えあれば憂いなし 知っておきたい災害時の感染対策・薬・栄養のこと」

講師:医療法人 五星会 菊名記念病院

感染専従看護師・災害支援看護師・管理栄養士・薬剤師の皆さま

(4)災害ボランティア連絡会ニュースの発送(年 12 回)

〈発送先〉※港北区災害ボランティア連絡会会員を除く

・各地域ケアプラザ、地区センター、港北警察署、区内学校など 24 か所×各 10 部

・区内7町内会、港北消防署、地域防災拠点運営委員など 23 か所×各1部

・その他(災害ボランティア連絡会会員による配布活動) 月平均 1000 部

3 福祉教育・福祉啓発の推進

<ひっと ひろがる-2>

福祉意識の醸成、次世代育成を目的に学校や地域、企業からの依頼により福祉教育・福祉啓発を行いました。

(1)福祉教育・福祉啓発相談調整

体験学習や講座に関する相談に対応し、企画や協力者紹介などを行いました。依頼者のニーズに柔軟に応えるとともに、本会の福祉教育の取組みを周知しました。

対応件数 26 件

(2)機材の貸出・提供

福祉体験で使用する機材(車いすや高齢者疑似体験セットなど)を貸出しました。

機材貸出件数 26 件



(3)「夏の福祉体験」～ふだんのくらしのしあわせ体験～

福祉とは何かを学び、子どもの成長の糧となるよう、地域福祉活動団体とともに講座を開催しました。活動者の想いや活動内容を見聞きすることで、子どもたち自身が「福祉」について考える機会を設けました。



令和7年度 福祉教育対応一覧

No	地区	学校・団体名	対象	人数	実施内容	協力者	実施日
1	日吉	下田 小学校	1～6年生	726	人権研修 視覚障害と盲導犬との生活	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	12月5日
2		駒林 小学校	1～2年生 6クラス	160	人権研修～ポッチャ体験を通して～	民生委員児童委員・主任児童委員、 横浜市スポーツ協会	12月4日
3			3～4年生 6クラス	180	人権研修～視覚障害当事者との交流を通して～	視覚障害当事者	12月8日
4			5～6年生 6クラス	164	人権研修～感覚の違い～	※講師調整 特別支援教育コーディネーター	12月9日
5			個別級 (1～6年)	10	防災について	港北区災害ボランティア連絡会	12月19日
6	綱島	北綱島 小学校	2年生 3クラス	94	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	11月1日
7			5年生 3クラス	80	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	11月1日
8		綱島 小学校	2年生 4クラス	113	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	11月29日
9			4年生 4クラス	110	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	11月29日
10	大曽根	大曽根 小学校	3年生 5クラス	181	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	12月12日
11	師岡	師岡 小学校	3年生 6クラス	198	身体障害について学ぶ(講演&車いす体験)	身体障害当事者(車いすユーザー)	11月17日
12			4年生 6クラス	220	身体障害について学ぶ(講演&車いす体験)	身体障害当事者(車いすユーザー)	11月26日
13	大倉山	太尾 小学校	4年生 4クラス	124	視覚障害理解や誘導の方法について学ぶ	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	12月9日
14			5年生 4クラス	134	発達障害やその特徴や思いについて理解を深める	※講師調整 特別支援教育コーディネーター	12月11日
15			6年生 4クラス	117	障害理解	身体障害当事者(義足)	11月25日
16		大綱 小学校	2年生 3クラス	98	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	11月7日
17	篠原	篠原 中学校	3年生 6クラス	221	高齢者理解研修	区社協(プログラム担当)	2月20日
18	区内	やすらぎの家	小学3年生～ 中学3年生	27	①車いす・アイマスク体験&ホットケーキづくり ②手話講座	①視覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協 ②聴覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協	①7月23日 ②7月24日
19	区内	夏のふくし体験	小学5年生～ 中学生	13	～ふだんのくらしのしあわせ体験～	①いきいき夢サロン(どりいむ) ②ホッとカフェ小机 ③高田コミュニティカフェゆずの樹 ④福茶きらり ⑤手話講座	①8月22日 ②7月24日 ③8月30日 ④7月30日 ⑤7月30日
20	企業	株式会社 ASFON TRUST NETWORK	新採用社員	3	高齢者理解研修	大豆戸地域ケアプラザ、 区社協(プログラム担当)	4月14日
21	企業	株式会社 みずほ銀行 綱島支店	社員	25	高齢者理解研修	樽町地域ケアプラザ、 区社協(プログラム担当)	9月24日

4 寄付文化の醸成に向けた取組み

＜ひっと ひろがる－１、つながる－１＞

多くの寄付金をいただくとともに、預託品として衣類(大人用、子ども用)、タオルやおむつ、お米などをお預かりし、必要な方へお渡ししました。また、寄付者と地域の活動団体をつなぎ、資金や物品の提供だけでなく顔の見える関係づくりに努めました。

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
寄付金件数	44	41	33	35	32
預託品件数	12	25	20	24	23
寄付金総額(円)	21,042,053	1,201,098	2,884,933	1,132,406	1,248,386

遺贈寄付(1件 ¥20,045,512)をいただきました。

たくさんのご寄付をありがとうございました



横浜日吉ロータリークラブ



横浜ひかりライオンズクラブ

必要としている方々へお渡しいたしました



樽町地域ケアプラザ



本町ファミリー食堂



どりいむ

令和7年度善意銀行 預託金品状況

【金銭】

	預託日	寄付者	内容
1	4月5日	横浜市港北区仏教会	50,000
2	4月10日	横浜北ロータリークラブ	100,000
3	4月21日	匿名個人	5,000
4	5月8日	港北芸能協会	17,220
5	5月19日	ゆとりのカラオケ	21,900
6	5月20日	匿名個人	5,000
7	5月28日	かおる葬祭 北新横浜ノースホール	3,000
8	6月21日	匿名個人	5,000
9	7月1日	(株)かおる葬祭 北新横浜ノースホール	13,731
10	7月3日	神奈川土建 一般労働組合 横浜支部	8,000
11	7月17日	ユニ(株)“小さな善意で大きな愛の輪”運動アピタ横浜綱島店 店長 島野和成	89,565
12	7月22日	匿名個人	5,000
13	7月29日	(株)かおる葬祭 北新横浜ノースホール	10,070
14	8月20日	匿名個人	5,000
15	9月2日	(株)かおる葬祭 北新横浜ノースホール	4,965
16	9月19日	匿名個人	5,000
17	10月6日	(株)かおる葬祭 北新横浜ノースホール	15,255
18	10月6日	(株)ティアーズ	2,460
19	10月15日	新都山流神奈川県支部	21,429
20	10月20日	匿名個人	5,000
21	10月22日	(株)かおる葬祭 北新横浜ノースホール	14,528
22	11月4日	港北邦楽協会	17,000
23	11月7日	港北芸能協会	21,815
24	11月18日	小さな森の家 北新横浜ノースホール	14,928
25	11月20日	匿名個人	5,000
26	11月27日	(株)かおる葬祭 小さな森の家 ラステル新横浜	11,056
27	12月4日	老人福祉センター 横浜市菊名寿楽荘	32,327
28	12月10日	小さな森の家 北新横浜ノースホール	16,188
29	12月11日	PCぱれっと	11,500
30	12月16日	(株)かおる葬祭 小さな森の家 ラステル新横浜	10,571
31	12月19日	匿名個人	5,000
32	12月23日	匿名個人	10,000
33	12月26日	リーダー電子 株式会社	100,000

令和7年度善意銀行 預託金品状況

34	1月14日	匿名個人	5,000
35	1月20日	匿名個人	5,000
36	2月2日	横浜日吉ロータリークラブ	100,000
37	2月20日	匿名個人	5,000
38	2月25日	匿名団体	453
39	2月27日	港北区ダンススポーツ連盟	30,000
40	3月10日	中沢 文明	50,000
41	3月19日	(株)かおる葬祭 ラステル新横浜	12,871
42	3月21日	匿名個人	5,000
43	3月31日	株式会社横浜アリーナ	120,709
		合計	996,541

令和7年度善意銀行 預託金品状況

【物品】

	預託日	寄付者	内容	備考
1	6月11日	横浜ひかりライオンズクラブ	お米200kg	感謝状要広報可
2	6月26日	匿名団体	塗り絵 1000枚	【匿名】礼状不要
3	11月12日	明治安田横浜北営業所	塗り絵 100枚	礼状不要、広報可
4	12月8日	川合 孝二	衣類、タオル	礼状要広報可
5	1月6日	匿名個人	衣類、タオル	【匿名】礼状不要
6	1月8日	グロースサポート社労士事務所	卓上カレンダー	礼状要広報可
7	1月16日	匿名個人	紙おむつ、ミルク、ベビーフード	【匿名】礼状不要
8	1月19日	匿名個人	衣類、タオル	【匿名】礼状不要
9	1月22日	株式会社しのはら商事 奥野洋介	カレンダー	礼状不要、広報可
10	2月2日	匿名個人	おむつ、食品	【匿名】礼状不要
11	2月20日	匿名個人	紙おむつ	【匿名】礼状不要
12	3月5日	横浜ひかりライオンズクラブ	レトルトカレー326食	礼状要広報可

V 信頼される組織運営

1 組織体制の整備【強化】

＜ひっと ひろがる—1＞

本会は会員組織として、地域福祉の活動に携わっている様々な団体や機関（地区社協、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、福祉施設、行政機関など）が正会員となり、知恵と力と資金を出し合って福祉のまちづくりを推進しました。

(1) 会員組織の拡充

会員数

年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
会員数	225	227	224	228	235
(新規)	(4)	(4)	(0)	(1)	(0)

会員内訳

正会員種別		団体数
第1種	公私社会福祉事業施設及び団体	60
第2種	民生委員・児童委員 ※民生委員・児童委員は個人会員として加入	23
第3種	地区社会福祉協議会	13
第4種	地区連合自治会町内会	13
第5種	当事者団体	34
第6種	ボランティア団体	37
第7種	その他社会福祉に関係ある団体 ※港北保護司会は個人会員として加入	31
第8種	社会福祉関係行政機関	12
第9種	学識経験者	2

(2) 会員セミナーの開催

正会員を対象とした地域福祉活動に有効な講座の開催

開催日	内 容	参加者
12月5日	研修「福祉職のための認知症の医療知識と最新情報」 ※ウィリング横浜と共催 講師 長田 乾	33名 (うち本会会員1名)

(3) 会員向け情報発信

紙媒体にて会員セミナーの情報を発信しました。今後は紙媒体に加えて、本会ホームページ内

の会員専用ページを活用し、会員セミナーの開催情報や寄付物品の配分に関する情報などを発信しました。

(4) 分科会活動の活性化

- | | |
|------------------|---------|
| ① 連合自治会町内会分科会 | |
| ② 民生委員児童委員分科会 | |
| ③ 地区社会福祉協議会分科会 | ※Ⅲ－1 掲載 |
| ④ ボランティア・市民活動分科会 | ※Ⅴ－3 掲載 |
| ⑤ 在宅福祉分科会 | ※Ⅴ－4 掲載 |
| ⑥ 障害者セーフティネット分科会 | ※Ⅴ－5 掲載 |
| ⑦ 保育所分科会 | ※Ⅴ－6 掲載 |

2 信頼性の高い組織運営

社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンスを強化するとともに、地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深めました。地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により公益的な取組みを推進しました。

(1) 理事会

	開催日	主な内容	結果
1	6月5日 理事(8)監事(1)	1 令和6年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 評議員候補者の推薦について 3 評議員選任・解任委員会 委員の選任について 4 評議員選任・解任委員会の招集について 5 定時評議員会の招集について 6 保有する情報の公開に関する規程等の一部改正について 7 保有する個人情報の保護に関する規程及び保有する保有個人データ開示等の請求に関する規程の一部改正について 8 会員の入会承認について	全て原案 どおり承認
2	6月20日 理事(10)監事(1)	1 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会会長及び副会長の選任について 2 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会顧問の選任について 3 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について	全て原案 どおり承認

3	10月16日 理事(10)監事(3)	1 経理規程の一部改正について 2 「情報登録事業(仮)」の入力支援業務の受託について 3 職員就業規程の一部改正について 4 令和7年度 第1回補正予算案について 5 評議員会の招集について 6 評議員選任候補者の推薦について 7 令和7年度 第3回評議員会の招集について 8 会員の入会承認について	全て原案 どおり承認
4	3月5日 理事(9)監事(2)	1 経理規程の一部改正について 2 令和7年度 第2回補正予算案について 3 令和8年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 4 会員の入会承認について 5 評議員選任候補者の推薦について 6 評議員選任・解任委員会の開催について 7 令和7年度 第3回評議員会の招集について 8 令和8年度 役員等の賠償責任保険契約締結について 9 第5期港北区地域福祉保健計画について 10 遺贈について	全て原案 どおり承認

(2) 評議員会

	開催日	主な内容	結果
1	6月20日 評議員(19) 監事(1)	1 令和6年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会 理事・監事の選任について	全て原案 どおり承認
2	11月7日 評議員(19)監事(2)	1 経理規程の一部改正について 2 職員就業規程の一部改正について 3 令和7年度 第1回補正予算案について	全て原案 どおり承認
3	3月23日 評議員(17)監事(3)	1 経理規程の一部改正について 2 令和7年度 第2回補正予算案について 3 令和8年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 4 理事の選任について	全て原案 どおり承認

(3) 監事会

	開催日	主な内容	結果
1	5月 29 日 監事(3)	令和6年度 港北区社会福祉協議会事業執行状況、経理状況及び財産状況の監査	正しく適正であると認める

(4) 評議員選任・解任委員会

	開催日	主な内容	結果
1	6月 11 日 委員(3)	評議員の選任について	全て原案どおり承認
2	10月 28 日(書面審議 【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	全て原案どおり承認
3	3月 12 日(書面審議 【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	全て原案どおり承認

(5) 部会

- ①地域部会
- ②当事者部会
- ③専門部会
- ④学識部会

(6) 委員会・各種会議

- ①ボランティアセンター運営委員会 ※Ⅳ－1掲載
- ②港北区ふれあい助成金審査会・港北区みんなの助成金審査会 ※Ⅲ－6掲載
- ③港北区年末たすけあい配分委員会(11月13日)
- ④顕彰審査会(8月20日)
- ⑤評議員選任・解任委員会
- ⑥業者選定委員会(9月30日、12月2日)
- ⑦港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」策定・推進会議 ※Ⅲ－2掲載
- ⑧移動情報センター推進会議 ※Ⅱ－3掲載

3 ボランティア・市民活動分科会

<ひっと つながるー1>

生涯学習や子育て・高齢者支援など、幅広い分野のボランティア・市民活動を行う団体が集まり、特色を活かした取組みを行いました。分科会会員が主体となり、共通の課題解決や活動活性化のための講座などを企画・立案し、活動の充実を図りました。

また、港北区ボランティアセンターと連携し、区域のボランティア活動の動向とのつながりを意識しました。

(1) 定例会の開催 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月 18 日 4名	1 令和7年度の活動について (1)分科会活動の方向性や案内・周知について (2)講座の開催について 2 各団体より
2	6月 20 日 4名	1 令和7年度の活動について (1)講座の開催について 2 各団体より
3	7月 18 日 7名	1 令和7年度の活動について (1)講座の開催について 2 各団体より
4	8月 15 日 9名	1 令和7年度の活動について (1)講座の開催について 2 各団体より
5	9月 19 日 10 名	1 令和7年度の活動について (1)講座の開催について 2 各団体より
6	10月 17 日 7名	1 令和7年度の活動について (1)講座の開催について 2 各団体より
7	11月 21 日 36 名	主催講座 障害当事者のおはなし会

8	1月 16 日 7名	1 令和 7 年度の活動について (1) 講座の開催について 2 各団体より 3 その他
9	2月 20 日 18 名	主催講座 ハンドマッサージ講座
10	3月 19 日 7 名	1 令和 7 年度の活動について (1) 講座の報告 2 令和 8 年度の活動について 3 各団体より 4 その他

(2) 講座の開催 【再掲】

- ①障害当事者のおはなし会
- ②ハンドマッサージ講座

4 在宅福祉分科会

<ひっと つながるー2>

年齢や障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、地域のボランティア団体や福祉施設が連携して、ネットワークづくりを進めます。

フォーマルサービス・インフォーマルサービスが連動した地域の中で支えあえる仕組みづくりについて共有・検討を行います。

(1) 構成メンバー

ボランティア団体、高齢者施設、ワーカーズコレクティブ、企業など

(2) 役員会

1	4月 22 日 2 名	・令和 7 年度計画について
2	7月 29 日 1名	・第 1 回定例会の振り返り ・次回の定例会について
3	1月 8 日 2 名	・第 2 回定例会の振り返り ・次回の定例会について
4	3月 9 日 2 名	・R8 年度計画について

(3) 定例会

1	6月13日 14名	・生活支援ボランティア交流会
2	11月21日 36名	・障害当事者のおはなし会【再掲】 ※ボランティア・市民活動分科会・ボランティアセンターとの共催
3	2月13日 7名	・今年度の振り返り ・次年度に向けて

(4) 講座の開催

① 障害当事者のおはなし会【再掲】

5 障害者セーフティネット分科会

<ひと つながるー1>

障害当事者団体・支援団体・ボランティア団体などとともに、障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が地域で安心して暮らすためのネットワークづくりを進めました。会員相互の交流や障害理解のための啓発活動を行うほか、港北区地域自立支援協議会と連携して取組みを進めました。

(1) 構成メンバー

当事者団体・家族団体、福祉施設、支援機関など

(2) 役員会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月18日 7名	・令和7年度の活動計画について ・「災害と私たち」リーフレット改訂について
2	6月20日 6名	・防災関係の交流会・勉強会について ・映画会について
3	8月15日	【参加人数が少ないため中止】
4	10月17日 5名	・警察との情報交換会について ・放課後デイサービス勉強会について
5	12月19日 5名	・映画会について ・次年度の取り組みについて
6	2月20日 5名	・映画会について ・次年度役員改選と分科会の開催方法について

(3) 定例会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月 16 日 11 名	・令和7年度の活動計画について ・「災害と私たち」リーフレット改訂について
2	7月 18 日 11 名	・港北区地域自立支援協議会について ・災害ボランティア連絡会との交流会 ・区の災害に関する勉強会について ・映画会について ・「災害と私たち」リーフレット改訂について
3	9月 19 日 11 名	・区役所による災害勉強会 ・港北警察署との情報交換会について ・映画会について ・「災害と私たち」リーフレットの改訂について
4	11 月 21 日 11 名	・港北警察署との情報交換会について ・放課後デイサービス勉強会について ・映画会について ・「災害と私たち」リーフレットの改訂について
5	1月 16 日 7名	・放課後デイサービス勉強会について ・映画会について ・「災害と私たち」リーフレットの改訂について ・次年度の取り組みについて
6	3月 27 日 9名	・役員改選について ・映画会の振り返り ・次年度の取り組みについて

(4) 住民に向けた障害理解・啓発活動

①手話講座はじめのいっぽ～手話で話してみよう！～

7月30日 参加者 14 名

場所 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容 小学生対象の手話講座

(あいさつ、自己紹介、簡単な単語、手話で会話)



②映画「どうすればよかったか？」上映会

3月1日 来場者 165 名

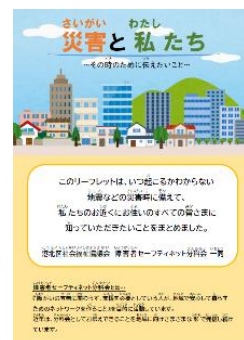
場所 港北公会堂

内容 障害理解啓発に関する映画の上映、区内作業所製品の販売
※港北区地域自立支援協議会との共同企画



③「災害と私たち」リーフレットの改訂

リーフレットの改訂と印刷を行い、映画会にて来場者に配付。



6 保育所分科会

<ひっと ひろがる-2>

公立・私立保育所の枠を超えたネットワークを活かして、区内の子育てをめぐる様々な課題の共有・解決の場として活用しました。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を設けるとともに、分科会参画団体の拡充を図りました。

(1)構成メンバー

本会正会員の認可保育所など

(2)役員会

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月9日 5名	・5月定例会の流れについて ・本年度事業計画について ・7月の定例会の内容について確認
2	7月11日 5名	・7月定例会の流れについて ・9月定例会の内容について確認
3	9月12日 5名(役員) 1名(講師)	・9月定例会の流れについて ・11月定例会の内容について確認
4	11月14日 4名(役員) 1名(講師)	・11月定例会の流れについて ・12月定例会の内容について確認

5	12月12日 4名	・12月定例会の流れについて ・2月定例会の内容について確認
6	2月13日 5名	・2月定例会の流れについて ・令和8年度事業計画についての確認

(3) 定例会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月9日 14名	・令和7年度事業計画について ・情報交換会について
2	7月11日 17名	・「保育に活かせる遊びを一緒に学ぼう」講座 part2 『あっ！遊び から THE！座談会』 ー遊んで、話して、明日の保育で、やってみよう！ー
3	9月12日 23名	・防災について 「自園の避難訓練を見直そう！気づきと実践力を育てる防災研修」
4	11月14日 26名	・地域子育て支援団体との交流会 「地域と保育園の連携 の実践について」 「妊娠期から0歳、就園前の子育て家庭の現状」
5	12月12日 15名	★廃材で手作りおもちゃ★ ～牛乳パック1つから色々なおもちゃができます～
6	2月13日 15名	・今年度の振り返り、来年度の事業計画について

(4) 研修会等の開催

【講座】

「保育に活かせる遊びを一緒に学ぼう」講座 part2 『あっ！遊び から THE！座談会』
ー遊んで、話して、明日の保育で、やってみよう！ー

講師:蓬田 則之氏(ジャンプ保育園 園長)(保育所分科会 副会長)

開催:7月12日 参加者 17名

「自園の避難訓練を見直そう！～気づきと実践力を育てる防災研修～」

講師:藤實 智子氏(一般社団法人保育の寺子屋 代表理事)

開催:9月12日 参加者 23名

「★廃材で手作りおもちゃ★～牛乳パック1つから色々なおもちゃができます～」

講師:白瀧 宏子氏(たんぼぼ保育園 園長)

開催:12月12日 参加者 15名

(5) 区内子育て支援団体との交流会の開催

「地域と保育園の連携 にここ広場(日吉宮前地区)の実践について」

講師: 山科 礼子氏 (日吉宮前地区民生委員児童委員協議会会長)

「妊娠期から0歳、就園前の子育て家庭の現状」

講師: 上久保 ふじえ氏 (特定非営利活動法人 日吉子育て応援団代表)

開催: 11月14日 参加者 26名

7 災害発生時に備えた体制の整備

大規模地震災害や気象災害の発生時に設置される災害ボランティアセンターの運営にそなえるため、区担当課や区災害ボランティア連絡会との日ごろから連絡調整を継続するとともに、災害時の対応の訓練実施やマニュアルの共有を通じて体制づくりを行いました。また、市役所や区役所、横浜市災害ボランティア支援センターとともに、発災から災害ボランティアセンターの立ち上げまでの流れについて訓練を通じて確認しました。

(1) 災害ボランティア登録シミュレーション訓練(12月3日)

参加者: 港北区社会福祉協議会職員 12名、横浜市社会福祉協議会職員3名

(2) 災害ボランティアセンター開設訓練及び運営シミュレーション訓練(1月31日)

参加者: 横浜市役所職員1名、港北区役所職員3名、横浜市社会福祉協議会職員2名、
港北区社会福祉協議会職員 11名、港北区災害ボランティア連絡会 14名、その他2名

(3) 港北区役所主催区防災訓練(情報伝達訓練)への参加(1月23日)

参加者: 港北区社会福祉協議会職員2名

8 苦情解決システムの充実

住民が意見・要望を言いやすい環境をつくるとともに、積極的に意見・要望などを聴取し、環境整備や業務改善を行いました。苦情を貴重なニーズとして真摯に受け止め、本会の事業推進やサービスの質の向上に努めました。

(1) 窓口満足度調査の実施(11月1日から11月30日 回答数91件)

(2) 「ご意見箱」の設置(年間/件数0件)

(3) 苦情受付件数(年間/件数0件)

9 コンプライアンス・リスクマネジメントの推進

コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応を見直し、徹底しました。また、日常業務でヒヤリハットの報告および事故の原因と改善策について共有しました。

- (1) 職員会議や日常業務でヒヤリハット(40件)・事故(3件)の内容と改善策を共有(朝・夕のミーティング時に実施)
- (2) 外部研修・会議への参加(1回)
- (3) 自主防災訓練(2回)

10 多様な働き方の推進

働き方改革の実施に向け、働き手のニーズの多様化に対応できるよう時差出勤など勤務調整を行いました。また、ICTの整備および活用を継続し、日常業務の効率化を図りました。

11 情報公開・個人情報保護制度の運用

社会福祉法の理念に基づき、本会の情報公開制度を適切に利用しながら、透明性・信頼性の高い事業運営を行いました。あわせて職員の意識啓発と個人情報の保護に努めました。

- (1) 個人情報保護法に対応した個人情報の適切な取扱いの徹底
- (2) 個人情報保護に関する研修の実施(1回)

1 2 財政運営の適正化

本会活動を進めていくため、賛助会費など自主財源の安定的な確保と財政運営の適正化に努めました。また、広報紙やホームページなどを通じ、本会活動や事業、会費などの活用について広く発信しました。

種別	正会費	世帯会費	賛助会費
会費(円)	1,210,200	4,219,270	15,824,600

1 3 職員の育成

横浜市社協人材育成計画に沿って、常勤・非常勤を含め内部研修や外部研修を活用し、職員は必要な知識・技術の研鑽に努め、専門性を高めました。さらに目標管理や人事考課制度を活用し、立場と組織目標を認識しながら業務に取り組みました。また、社会福祉士相談援助実習の受入れを行い福祉人材の育成に寄与しました。

外部研修〔全社協・県社協主催のみ〕(開催数)	参加者(名)
社会福祉協議会 新任職員研修会・フォローアップ研修(5回)	2
生活福祉資金(教育支援資金)関連業務研修(4回)	1
全国福祉教育推進員研修(1回)	1

1 4 法人運営・経理事務の効率化

クラウドサービス等による情報共有など、IT の活用により、法人運営および経理事務の効率化を図りました。

- (1) グループウェアの活用による情報共有およびスケジュール管理の効率化
- (2) 電子決裁による事務の効率化
- (3) インターネットバンキングの活用

15 団体事務

福祉関係団体の事務局として、各団体の自主的な活動を支援するとともに、相互の連携により地域福祉を推進しました。

- (1) 神奈川県共同募金会横浜市港北区支会
- (2) 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港北区地区委員会
- (3) 港北区更生保護女性会
- (4) 港北区遺族会
- (5) 港北区「社会を明るくする運動」実施委員会

令和7年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1001	フリースペースほっふ	80,000
要援護者支援	集いの場	1002	まちの縁側「そよご」	45,000
要援護者支援	集いの場	1003	キッチン・いこい	80,000
要援護者支援	集いの場	1004	折り紙を楽しむ会	30,000
要援護者支援	集いの場	1005	「ダンラン」男同志の昼食会	80,000
要援護者支援	集いの場	1006	おれんじの会	400,000
要援護者支援	集いの場	1007	宮前交流カフェプロジェクト	80,000
要援護者支援	集いの場	1008	わだねの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1009	いきいきの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1010	篠原東福祉部 いこいの集い	80,000
要援護者支援	集いの場	1011	城郷地区「こどもの居場所」実行委員会(たまりBAこづくえ)	120,000
要援護者支援	集いの場	1012	WAIWAIみんなの箕輪クラブ	40,000
要援護者支援	集いの場	1013	特定非営利活動法人 横浜子育て支援グループ ぽっけ	80,000
要援護者支援	集いの場	1014	なごみの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1015	クローバー会(クローバーカフェ)	40,000
要援護者支援	集いの場	1016	ミニ樽サロン運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1017	レコード・ミュージック・プラザ	80,000
要援護者支援	家事・生活支援	1018	港北・家事介護ワーカーズコレクティブ「いずみ」	400,000
要援護者支援	集いの場	1019	樽町かがやきグループ スポーツクラブ	80,000
要援護者支援	集いの場	1020	さつきクラブ	80,000
要援護者支援	集いの場	1021	あったかだ	80,000
要援護者支援	集いの場	1022	かもみいる運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1023	コーヒーサロンわいわい城郷	120,000
要援護者支援	集いの場	1024	なごみ会	80,000
要援護者支援	集いの場	1025	ミニデイサービス西町のつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1026	コーヒーボランティアらんらん	80,000
要援護者支援	集いの場	1027	ふらっと高田	400,000
要援護者支援	集いの場	1028	花しょうぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1029	クローバーカフェKIKUNA	80,000
要援護者支援	集いの場	1030	菊名南町自治会 ひな菊	80,000
要援護者支援	集いの場	1031	かもめのつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1032	いこいの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1033	元気な笑顔	80,000
要援護者支援	家事・生活支援	1034	ほっと新吉田	160,000
要援護者支援	集いの場	1035	特定非営利活動法人ポケット	80,000
要援護者支援	集いの場	1036	スリーA教室元気!!	40,000
要援護者支援	集いの場	1037	港北ユーステーブル	80,000
要援護者支援	集いの場	1038	サロンこもれび	50,000
要援護者支援	集いの場	1039	おおそねちびサロン	50,000
要援護者支援	配食	1040	綱島東ボランティア	80,000
要援護者支援	集いの場	1041	ちびたる	180,000
要援護者支援	集いの場	1042	子育てサロン はひふへほ	180,000
要援護者支援	集いの場	1043	あやめの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1044	精神保健福祉ボランティアG・そら(仮称 俳句仲間道灯かり)	80,000
要援護者支援	集いの場	1045	下田子育て応援会	80,000
要援護者支援	集いの場	1046	こんぺいとうさん	80,000
要援護者支援	集いの場	1047	青少年育成支援の会	100,000
要援護者支援	集いの場	1048	おおきくなあれ	180,000
要援護者支援	送迎	1049	コミバス市民の会	300,000
要援護者支援	配食	1050	綱島西ボランティアグループ	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1051	子育てサロン「よしだっこ」	120,000
要援護者支援	集いの場	1052	すみれのびのび体操	120,000
要援護者支援	集いの場	1053	綱島地区「ふれあいサロン」	35,000
要援護者支援	集いの場	1054	篠原北地区民生委員児童委員協議会	80,000
要援護者支援	集いの場	1055	高田コミュニティカフェ ゆずの樹	400,000
要援護者支援	配食	1056	配食よつ葉会	160,000
要援護者支援	集いの場	1057	はなみずき会サロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1058	菊名の居場所 あったか	300,000
要援護者支援	集いの場	1059	ベビそね	80,000
要援護者支援	集いの場	1060	お話し聴くとも会	120,000
要援護者支援	集いの場	1061	NPO法人街カフェ大倉山ミエル	400,000
要援護者支援	集いの場	1062	おはなし、な～に？	70,000
要援護者支援	集いの場	1063	カラダづくりサロン鳥山健康大学	120,000
要援護者支援	送迎	1064	移動サービスワーカーズコレクティブ らら・むーぶ港北	350,000
要援護者支援	集いの場	1065	大倉山地区社会福祉協議会	300,000
要援護者支援	集いの場	1066	こゆず	300,000
要援護者支援	集いの場	1067	樽町なごみ食堂	80,000
要援護者支援	集いの場	1068	師岡こども学習会	80,000
要援護者支援	集いの場	1069	太尾っ子広場	80,000
要援護者支援	集いの場	1070	りんどうの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1071	ボランティア下田	80,000
要援護者支援	集いの場	1072	こどものへや文庫	80,000
要援護者支援	集いの場	1073	ほのぼ～の	40,000
要援護者支援	集いの場	1074	学びのサロンとりやまアカデミア	120,000
要援護者支援	集いの場	1075	みちくさの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1076	大豆戸民児協 まめのきひろば	80,000
要援護者支援	集いの場	1077	茶処ま～め～ど	180,000
要援護者支援	配食	1078	水曜ランチ ホットカフェ	300,000
要援護者支援	集いの場	1079	キキの会	180,000
要援護者支援	家事・生活支援	1080	太尾ふれあいクラブ	160,000
要援護者支援	集いの場	1081	郷づくり濱なかま	120,000
要援護者支援	集いの場	1082	ここみてこうほく港北	120,000
要援護者支援	集いの場	1083	新横浜民児協 かもねくらぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1084	ミニデイサービスお茶の間	80,000
要援護者支援	集いの場	1085	もろおか里山倶楽部	400,000
要援護者支援	集いの場	1086	スリーA smile	80,000
要援護者支援	集いの場	1087	放課後ひみつきち	180,000
要援護者支援	集いの場	1088	篠原台町みどりの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1090	太尾フレンドサロン・いこい	50,000
要援護者支援	集いの場	1091	仲手原南ボランティア夢クラブ	60,000
要援護者支援	集いの場	1092	子育てサロンたんぽぽにつば	120,000
要援護者支援	集いの場	1093	つなしまみんなの食堂	40,000
要援護者支援 集計				11,430,000
障害児者支援	当事者活動	2001	横浜レインボー	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2002	フリッパーの会	120,000
障害児者支援	当事者活動	2003	スイミー	120,000
障害児者支援	当事者活動	2004	スポリハBALL会	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2005	ヒップホップダンスクラブ	120,000
障害児者支援	当事者活動	2006	ツインバスケットボールを楽しむ会	180,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2007	33 (mimi) サークル	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2008	ダンスワークかれん	80,000
障害児者支援	当事者活動	2009	横浜ドリーマーフライングディスククラブ	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
障害児者支援	障害児者支援	2010	水泳同好会 サッシュ	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2011	おひさまっ子の会水泳部	120,000
障害児者支援	当事者活動	2012	音楽療法横浜グループ	80,000
障害児者支援	当事者活動	2013	横浜ドリーマーマーメイド	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2014	ラポールFC	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2015	白梅会	100,000
障害児者支援	当事者活動	2016	ドリーマ・サンワテニスクラブ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2017	横浜ドリーマー アーチェリークラブ	80,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2018	港北録音グループ	50,000
障害児者支援	当事者活動	2019	ラポール卓友会	180,000
障害児者支援	障害児者支援	2020	声を楽しむ声楽教室	180,000
障害児者支援	障害児者支援	2021	光る波(シュタイナーを学び障がいを考える会)	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2022	ハチャメチャアトリエ	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2023	ABM	180,000
障害児者支援	当事者活動	2024	ラポール倶楽部 花みずき	95,000
障害児者支援	当事者活動	2025	横浜ボッチャーズ	80,000
障害児者支援	当事者活動	2026	横浜レッドブリックス	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2027	わくわくポート	50,000
障害児者支援	当事者活動	2028	横浜ボッチャ倶楽部	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2029	グループペンギンB	120,000
障害児者支援	リハビリ目的等の集い事業	2030	しらゆり会	80,000
障害児者支援	当事者活動	2031	ディスククレイジー	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2032	YOKOHAMA BayDream P.S.C	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2033	新風～SARAKAZE～	120,000
障害児者支援	当事者活動	2034	横浜ドリーマーショートテニスクラブ	180,000
障害児者支援	当事者活動	2035	横浜ドリーマーレクリエーションクラブ	200,000
障害児者支援	当事者活動 宿泊/日帰り	2036	さくらんぼの会	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2037	ウォーターボーイズ	120,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2038	港北区手話サークル あじさいの会	50,000
障害児者支援	当事者活動	2039	ピアサポート・L	60,000
障害児者支援 集計				4,005,000
福祉のまちづくり		3001	ドルチェ	40,000
福祉のまちづくり		3002	ウクレレサークル ルア	40,000
福祉のまちづくり		3003	横浜港北おもちゃドクターの会	40,000
福祉のまちづくり		3004	下田farmers	40,000
福祉のまちづくり		3005	任意団体 海街	40,000
福祉のまちづくり		3006	港北区子育て支援ボランティア「ポケット」	30,000
福祉のまちづくり		3007	NPO法人日吉子育て応援団	40,000
福祉のまちづくり		3008	日吉に子育てに関するネットワークを作る会	20,000
福祉のまちづくり		3009	公園遊びの会 わくわく	40,000
福祉のまちづくり		3010	ぞうさんの帽子	40,000
福祉のまちづくり		3011	港北おはなし会	40,000
福祉のまちづくり		3012	アトリエつくろ	20,000
福祉のまちづくり		3013	おはなしキラキラぼっけ	40,000
福祉のまちづくり		3014	特定非営利活動法人 青少年育成開発協会	40,000
福祉のまちづくり		3015	日吉キッズステーション	40,000
福祉のまちづくり		3016	ハロークラブ	30,000
福祉のまちづくり		3017	菊名フードパントリー	38,000
福祉のまちづくり		3018	大倉山ブックカフェの会	40,000
福祉のまちづくり		3019	大倉山支えあいまつり実行委員会	30,000
福祉のまちづくり		3020	きくなびよんぴよん	30,000
福祉のまちづくり		3021	子どもの居場所を考える会	30,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
福祉のまちづくり		3022	遊びと表現企画『ちびっこがちゃぽん』	40,000
福祉のまちづくり		3023	鯛ヶ崎お話会	40,000
福祉のまちづくり		3024	みんなの広場	30,000
福祉のまちづくり		3025	公園あそびの会 おるたん	40,000
福祉のまちづくり		3026	ボランティアサークル まごの手	30,000
福祉のまちづくり		3027	おひさまたんけんたい	40,000
福祉のまちづくり		3028	特定非営利活動法人精神保健を考える会まいんどくらぶ	30,000
福祉のまちづくり		3029	ポコ・ア・ポコ	40,000
福祉のまちづくり		3030	ゆるこう会	40,000
福祉のまちづくり		3031	スリーAたる	40,000
福祉のまちづくり		3032	大曽根みんなの福祉まつり実行委員会	30,000
福祉のまちづくり		3033	音楽ボランティア ヴォーカル・アンサンブル・フルール	40,000
福祉のまちづくり		3034	ちびっこ探検隊	40,000
福祉のまちづくり		3035	Tomodachi Club(港北くみんの会)	30,000
福祉のまちづくり 集計				1,258,000
健康増進		4001	おめめアップチーム	10,000
健康増進		4002	粋な男の体操サークル	10,000
健康増進		4003	伸び伸びスターズ	10,000
健康増進		4004	ウォーキングくらぶ たんぽぽ	10,000
健康増進		4005	カラフルチューン	10,000
健康増進		4006	新羽シニアストレッチ	10,000
健康増進		4007	シルバー健康体操宮前教室	10,000
健康増進 集計				70,000
港北区ふれあい助成金 合計				16,763,000
イベント		5001	新吉田地区ふれあい動物園実行委員会	200,000
イベント		5002	梅の丘公園ミュージックFES実行委員会	200,000
イベント		5003	第41回 大倉山秋の芸術祭	200,000
イベント		5004	大倉山夢まちづくり実行委員会	200,000
イベント		5005	港北区教育懇談会	200,000
イベント 集計				1,000,000
地区別計画推進		8001	光と活力「ふくふくプロジェクト」	100,000
地区別計画推進		8002-①	ハートフル大曽根	50,000
		8002-②	ハートフル大曽根	45,000
地区別計画推進		8003	「ひっとプラン港北」綱島地区計画推進委員会	70,000
地区別計画推進		8004	菊名地区ひっとプラン推進委員会	50,000
地区別計画推進		8005-①	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	30,000
		8005-②	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	70,000
地区別計画推進		8006	新羽町健康づくり部会	70,000
地区別計画推進		8007-①	たすけあうまち城郷推進委員会	40,000
		8007-②	たすけあうまち城郷推進委員会	50,000
地区別計画推進		8008	樽地区計画推進委員会	100,000
地区別計画推進 集計				675,000
小規模集いの場活動		9001	しろさと地区放課後プラザ	40,000
小規模集いの場活動		9002	横浜北部失語症友の会	50,000
小規模集いの場活動 集計				90,000
港北区みんなの助成金 合計				1,765,000
港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 合計				18,528,000

令和7年度 港北区社会福祉協議会決算概要

令和7年度決算は、収入総額1億6,972万3,878円、支出総額1億1,202万8,738円となり、収支差額（支払資金残高）は5,769万5,140円となりました。約2,000万円の遺贈寄付（うち1,000万円は福祉基金へ積立）により、当期資金収支差額(小計)は729万1,475円となり、収入増となりました。

収入支出の内訳は、会費、共同募金配分金、寄付金が収入の57.3%、対する支出の48.2%を助成金が占め地区社協をはじめとする地域福祉活動の貴重な財源となっています。

資金収支計算書(P2)抜粋

(単位:円)

	収入①	支出②	収支差額③=①-②
事業活動による収支	119,320,213	98,959,738	20,360,475
施設整備等による収支	0	3,069,000	△ 3,069,000
その他の活動による収支	0	10,000,000	△ 10,000,000
当期資金収支差額（小計）	119,320,213	112,028,738	7,291,475
前期支払資金残高	50,403,665	—	50,403,665
合 計	169,723,878	112,028,738	57,695,140

事業活動による収支

A 収入の内訳

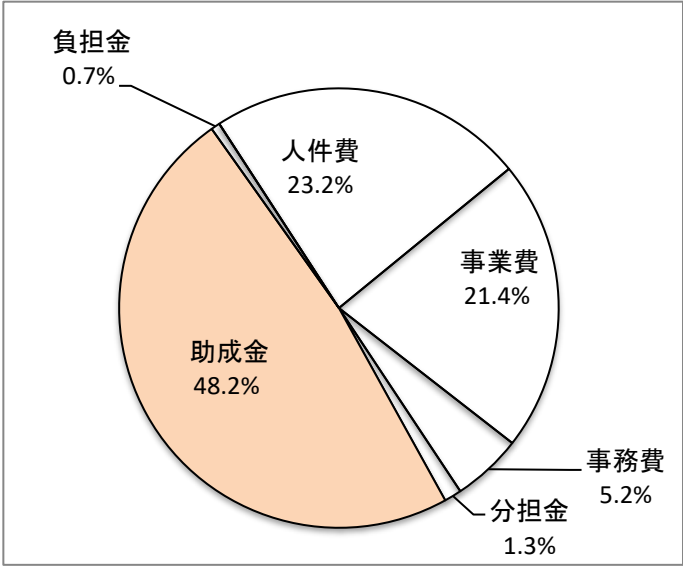
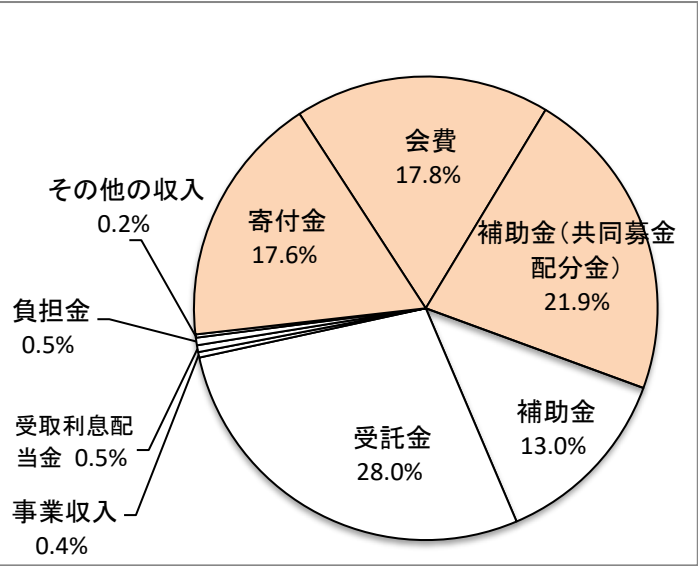
(単位:円)

会費収入	21,254,070
寄付金収入	21,042,053
経常経費補助金収入	41,699,605
受託金収入	33,400,573
事業収入	452,350
負担金収入	627,044
受取利息配当金収入	571,620
その他の収入	272,898
合 計	119,320,213

B 支出の内訳

(単位:円)

人件費支出	23,006,997
事業費支出	21,225,496
事務費支出	5,100,871
分担金支出	1,266,600
助成金支出	47,705,550
負担金支出	654,224
その他の支出	—
合 計	98,959,738



法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：社会福祉事業
拠点：法人運営及び区社協実施事業

資金収支計算書総括表
(自) 令和7年04月01日
(至) 令和8年03月31日

サービス区分	事業活動による収支			施設整備等による収支			その他の活動による収支			予備費支出(10)	当期資金収支差額合計(11) =(3)+(6)+(9)-(10)	前期末支払資金残高(12)	当期末支払資金残高(11)+(12)
	事業活動収入計(1)	事業活動支出計(2)	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	施設整備等収入計(4)	施設整備等支出計(5)	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	その他の活動収入計(7)	その他の活動支出計(8)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
法人運営	47,006,123	13,990,327	33,015,796	0	0	0	148,011	33,849,173	33,701,162	0	685,366	13,672,156	12,986,790
ボランティアセンター事業	116,700	367,167	250,467	0	0	0	142,560	0	142,560	0	107,907	868,781	760,874
地区社協活動支援事業	650,000	14,259,130	13,609,130	0	0	0	13,609,130	0	13,609,130	0	0	0	0
福祉保健活動拠点運営	18,135,308	18,503,870	368,562	0	268,400	268,400	0	0	0	0	636,962	636,962	0
共同募金配分事業	26,273,618	25,241,360	1,032,258	0	2,800,600	2,800,600	3,127,507	514,907	2,612,600	0	844,258	18,414,255	19,258,513
善意銀行運営	996,541	99,118	897,423	0	0	0	8,445,512	1,923,560	6,521,952	0	7,419,375	15,474,259	22,893,634
移動情報センター事業	12,995,153	12,028,338	966,815	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	33,185	33,185	0
権利擁護事業	2,021,350	2,101,708	80,358	0	0	0	0	0	0	0	80,358	80,358	0
地域福祉推進事業	282,000	306,000	24,000	0	0	0	24,000	0	24,000	0	0	0	0
みんなの助成金配分事業	10,271,800	12,062,720	1,790,920	0	0	0	1,790,920	0	1,790,920	0	0	0	0
福祉基金	571,620	0	571,620	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	0	571,620	1,223,709	1,795,329
合計	119,320,213	98,959,738	20,360,475	0	3,069,000	3,069,000	37,287,640	47,287,640	10,000,000	0	7,291,475	50,403,665	57,695,140

法人単位資金収支計算書

(自)令和7年04月01日 (至)令和8年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 1
(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	21,457,000	21,254,070	202,930	
	寄附金収入	21,046,000	21,042,053	3,947	
	経常経費補助金収入	46,077,000	41,699,605	4,377,395	
	受託金収入	35,325,000	33,400,573	1,924,427	
	事業収入	418,000	452,350	34,350	
	負担金収入	700,000	627,044	72,956	
	受取利息配当金収入	331,000	571,620	240,620	
	その他の収入	77,000	272,898	195,898	
	事業活動収入計(1)	125,431,000	119,320,213	6,110,787	
支出	人件費支出	28,322,345	23,006,997	5,315,348	
	事業費支出	26,065,803	21,225,496	4,840,307	
	事務費支出	6,603,936	5,100,871	1,503,065	
	分担金支出	1,535,000	1,266,600	268,400	
	助成金支出	52,815,000	47,705,550	5,109,450	
	負担金支出	593,152	654,224	61,072	
	事業活動支出計(2)	115,935,236	98,959,738	16,975,498	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		9,495,764	20,360,475	10,864,711	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	3,268,400	3,069,000	199,400	
	施設整備等支出計(5)	3,268,400	3,069,000	199,400	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		3,268,400	3,069,000	199,400	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	10,000,000	10,000,000	0	
	その他の活動支出計(8)	10,000,000	10,000,000	0	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	10,000,000	10,000,000	0	
予備費支出(10)		47,652,000	-	46,630,364	
		1,021,636			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		50,403,000	7,291,475	57,694,475	
前期末支払資金残高(12)		50,403,000	50,403,665	665	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	57,695,140	57,695,140	

予備費を器具什器費支出に192,480円充当
予備費を渉外費支出（事務費）に70,000円充当
予備費を器具及び備品取得支出に268,400円充当
予備費を業務委託費支出に55,000円充当
予備費を租税公課支出に183,820円充当
予備費を事務消耗品費支出（事務費）に171,936円充当
予備費を負担金支出に80,000円充当

法人単位事業活動計算書

(自) 令和7年04月01日 (至) 令和8年03月31日

法人: 社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会

事業: 法人全体

1 / 1

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	21,254,070	21,255,302	△1,232
	寄附金収益	21,042,053	1,201,098	19,840,955
	経常経費補助金収益	41,699,605	41,382,924	316,681
	受託金収益	33,400,573	30,594,397	2,806,176
	事業収益	452,350	457,410	△5,060
	負担金収益	627,044	652,534	△25,490
	サービス活動収益計(1)	118,475,695	95,543,665	22,932,030
	費用			
	人件費	23,006,997	23,038,657	△31,660
	事業費	21,225,496	19,171,717	2,053,779
	事務費	5,100,871	4,736,449	364,422
	分担金費用	1,266,600	1,303,064	△36,464
	助成金費用	47,705,550	48,291,169	△585,619
サービス活動増減の部	負担金費用	654,224	241,000	413,224
	減価償却費	989,335	885,554	103,781
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△24,999	0	△24,999
	サービス活動費用計(2)	99,924,074	97,667,610	2,256,464
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	18,551,621	△2,123,945	20,675,566
	収益			
	受取利息配当金収益	571,620	330,560	241,060
	その他のサービス活動外収益	272,898	560,135	△287,237
	サービス活動外収益計(4)	844,518	890,695	△46,177
	費用			
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	844,518	890,695	△46,177
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	19,396,139	△1,233,250	20,629,389
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	2	0	2
	国庫補助金等特別積立金積立額	500,000	0	500,000
	特別費用計(9)	500,002	0	500,002
繰越活動増減差額の部	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△500,002	0	△500,002
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	18,896,137	△1,233,250	20,129,387
	前期繰越活動増減差額(12)	54,289,348	55,522,598	△1,233,250
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	73,185,485	54,289,348	18,896,137
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額(17)	10,000,000	0	10,000,000
繰越活動増減差額の部	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	63,185,485	54,289,348	8,896,137

法人単位貸借対照表
令和8年03月31日現在

法 人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事 業：法人全体

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	69,447,503	58,066,699	11,380,804	流動負債	11,752,363	7,663,034	4,089,329
現金預金	68,974,428	56,620,403	12,354,025	事業未払金	6,219,535	4,226,175	1,993,360
事業未収金	164,100	100,870	63,230	その他の未払金	4,947,578	2,945,509	2,002,069
未収金	0	1,088,771	1,088,771	預り金	585,250	486,350	98,900
立替金	0	0	0	前受金	0	5,000	5,000
前払費用	308,975	256,655	52,320	負債の部合計	11,752,363	7,663,034	4,089,329
仮払金	0	0	0	純資産の部			
固定資産	241,905,367	229,825,704	12,079,663	基本金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	475,001	0	475,001
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	その他の積立金	232,940,021	222,940,021	10,000,000
その他の固定資産	238,905,367	226,825,704	12,079,663	福祉基金積立金	232,940,021	222,940,021	10,000,000
車輛運搬具	4	4	0	次期繰越活動増減差額	63,185,485	54,289,348	8,896,137
器具及び備品	5,965,342	3,885,679	2,079,663	(うち当期活動増減差額)	18,896,137	1,233,250	20,129,387
福祉基金積立資産	232,940,021	222,940,021	10,000,000	純資産の部合計	299,600,507	280,229,369	19,371,138
資産の部合計	311,352,870	287,892,403	23,460,467	負債及び純資産の部合計	311,352,870	287,892,403	23,460,467

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等 - 償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの - 決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品 - 定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 法人運営及び区社協実施事業拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）

(7) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（ ））

(8) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（ ））

(9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点（社会福祉事業）

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

移動情報センター事業

権利擁護事業

地域福祉活動推進事業

みんなの助成金配分事業

福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9.有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	560,880	560,876	4
器具及び備品	11,861,757	5,896,415	5,965,342
合 計	12,422,637	6,457,291	5,965,346

10.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
神奈川県第230回公募公債	50,000,000	48,969,100	1,030,900
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	48,750,450	1,249,550
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	48,765,000	1,235,000
神奈川県第94回公募公債	20,000,000	19,420,000	580,000
神奈川県第99回公募公債	50,000,000	48,545,800	1,454,200
合 計	220,000,000	214,450,350	5,549,650

11.関連当事者との取引の内容

該当なし

12.重要な偶発債務

該当なし

13.重要な後発事象

該当なし

14.合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15.その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財産目録
令和8年03月31日現在

法 人:社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事 業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	68,974,428
現金		—		—	—	33,500
小口現金		—		—	—	20,000
小口現金(一般)		—	運転資金として	—	—	20,000
小口現金(共募)		—		—	—	0
その他の現金		—		—	—	13,500
その他の現金		—	運転資金として	—	—	13,500
預貯金		—		—	—	68,940,928
普通預金		—		—	—	68,940,928
1 普通預金(一般)		—	運転資金として	—	—	26,723,736
2 普通預金(共募)		—	運転資金として	—	—	19,322,678
3 普通預金(善銀)		—	運転資金として	—	—	22,893,634
4 振替口座(汎用)		—	振替口座として	—	—	0
8 振替口座(会費)		—	振替口座として	—	—	880
事業未収金		—	あんしんセンター利用料	—	—	164,100
未収金		—		—	—	0
立替金		—		—	—	0
前払費用		—	保険料(施設賠償責任保険など)	—	—	308,975
仮払金		—		—	—	0
流動資産合計						69,447,503
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	3,000,000
基本財産特定預金		—		—	—	3,000,000
定期預金 (基本財産)		—	基本財産として	—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	電動自転車(ヤマハ) 他	—	権利擁護事業	560,880	560,876	4
器具及び備品	防盜金庫他	—	法人運営	11,861,757	5,896,415	5,965,342
福祉基金積立資産		—		—	—	232,940,021
普通預金(一般①)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	10,000,000
普通預金(一般②)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	2,940,021
国内公社債 (神奈川県第230回公募債)	野村証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	50,000,000
国内公社債 (神奈川県第232回公募債)	野村証券、みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	100,000,000
国内公社債 (神奈川県債)	みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	20,000,000
国内公社債 (神奈川県第99回公募債)	野村証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	50,000,000
その他の固定資産合計						238,905,367
固定資産合計						241,905,367
資産合計						311,352,870
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	人件費、事務費、他	—		—	—	6,219,535
その他の未払金	補助金戻入(福祉保健活動拠点他)	—		—	—	4,947,578
預り金	ボランティア活動保険	—		—	—	585,250
前受金		—		—	—	0
流動負債合計						11,752,363
固定負債合計						0
負債合計						11,752,363
差引純資産						299,600,507

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和 8 年 5 月 28 日

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
会 長 関 治 美 様

監事 家鍋 雄一郎 (印)

監事 森田 妙子 (印)

監事 郷原 寛史 (印)

私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。